



環境大レポート

第36号

Mar. 2021

K A N K Y O D A I R E P O R T



ある冬の日のヤギ部の様子

特集

2 3

僕たち私たちのキャンパス紹介

CAMPUS GUIDE

ESSAY

外国人との共生社会を目指して 経営学部 佐藤 彩子 講師

4

受賞関係

環大コンペ結果

研究紹介

下水汚泥からエネルギーを創出 - 循環型社会の切り札・下水汚泥 -
環境学部 戸刈 丈仁 准教授
AI技術の活用によるESG情報の評価に関する研究
経営学部 中尾 悠利子 准教授

5

就職支援

2021年3月卒業予定者内定速報

6 7

国際交流

オンラインde国際交流を行いました!

8

クラブ&サークル活動 委員会

女子バレーボール部・美術部/学生EMS委員会・学生会執行部

9

プロジェクト研究

「とっとりメモリー」(鳥取のお土産イラストブランド)の新商品開発

10

キャンパスニュース

2020年9月~2021年2月

11

決算報告

2019年度 公立大学法人 公立鳥取環境大学 決算概要

12

お知らせ

PRコーナー/2020年度学部・大学院学位授与式

CAMPUS GUIDE

豊かな自然に囲まれたキャンパス

公立鳥取環境大学は、2021年に開学20年の節目を迎えます。

キャンパスは、鳥取県鳥取市の閑静な住宅街、若葉台に位置しています。30分ほどで鳥取砂丘、日本海、1時間ほどで芦津溪、氷ノ山などに行くことができ、身近な自然環境をフィールドワークにも利用しています。また、大学の敷地内でヤギを飼育しているヤギ部というサークルもあります。

そんな個性豊かな本学のキャンパスを紹介します。

キャンパスマップ campus map

CAMPUS Life!

大学の裏山に授業で行くこともあります！
(化石・キノコ採集など)

外国人スタッフと楽しく話せる英語村があります！

学内にヤギがいます！



1 大学本部講義棟

授業で使用する多くの教室がある棟です。また、事務局も配置しています。(1階…学務課・就職支援センター/2階…学長室・副学長室・総務課・入試広報課・研究交流推進課・国際交流センター)



2 100・200講義室

2017年9月に建設された学内で最も新しい講義室。100講義室は301人、200講義室は358人の収容が可能です。環境、経営両学部共通の授業科目(総合教育科目)などで使用されます。



3 ヤギ

大学の敷地内でヤギ5頭を飼育しています。世話にはヤギ部の学生たちが毎日交代でおこなっています。赤い首輪をつけたあずき早がよく柵内から脱走しています。学内の癒しスポットです。



4 実験研究棟

実験研究棟では、生物学、化学、地学、工学など、環境保全について幅広い分野の研究をおこなうことができます。研究活動に打ち込む、環境学部の学生の姿が見られます。



5 4105A 学生研究室

学生ならいつでも利用可能な研究室。研究や課題に取り組むのに最適なスペースです。他大学では例の少ない、1年次から使用可能な学生専用の研究室です。



6 語学演習室

主に外国語科目の授業で使用される収容人数40人程度の教室です。通常の授業科目は90分授業を週1回おこないますが、英語の授業は集中しやすいように45分授業を週2回おこなっています。



7 中庭

スクールバスから降りてすぐの大学の玄関口。晴れた日にはベンチや階段でお弁当を食べる学生たちもいます。春にはヒバリが巣を作っている様子も見られます。冬には一面雪景色になることも。



8 情報メディアセンター(図書館)

約9万冊の蔵書があります。図書館に置きたい本を学生たちで選ぶブックハンティングもおこなっています。授業の空き時間や期末試験前に自習をする学生が多く見られます。また、パソコンの相談窓口、ヘルプデスクも開設しています。



9 英語村

世界各国のスタッフとのコミュニケーションを通じて擬似英語圏が体験できる空間です。映画や音楽などの外国文化をはじめ、料理教室やゲームなどのアクティビティを通して、楽しみながら英語を学べます。



10 ダンクショップ(購買)

教科書・文具・雑貨・食料品等、学生生活に必要な商品を販売しています。また、学生の一人暮らしに必要な家電などリサイクル品の販売もおこなっています。



11 学生食堂(カフェテリア)

一面ガラス張りの学食は自然光があふれ、ランチタイムを快適に過ごせます。天気の良い日はオーブンテラスでの食事がおすすめ。鳥取県で有名な「すなば珈琲」を営業するぎんりんグループが運営しています。



12 クラブハウス・体育館

体育館は、サークル活動やスポーツ実技の授業で使用されます。男女更衣室にはシャワーを備えています。また、すぐそばには計40の部室からなるクラブハウスがあり、サークル活動に活用されています。





外国人との共生社会を目指して

経営学部
佐藤 彩子 講師



2020年初頭に勃発した新型コロナウイルスの世界的な流行は、人々の価値観や行動様式を大きく変化させました。国内での地域間移動や国外移動が制限され、航空産業や観光産業等、あらゆる産業に影響が生じています。

他方で、人口減少が進む我が国では労働力不足が顕著であり、それを補完すべく外国人労働者の本格的な受入が検討されています。私の研究対象である介護サービス産業では、①2008年のEPA(Economic Partnership Agreement、経済連携協定)創設、②2017年の技能実習制度対象職種への介護の追加、③2017年の介護福祉士資格を取得した留学生への在留資格「介護」の創設、④2019年の改正入管法施行に伴う「特定技能」の創設の4つにより、外国人介護職員の受入が進んでいます。中でも、フィ

リピンやベトナム、インドネシア、ミャンマー等のアジアからの受入が多いのが特徴です。

他方で、上記の制度的受入とは別の理由で来日し日本に長期滞在する就労制限のない外国人の中に、介護サービス産業就業者が存在することも明らかにされつつあります。彼らは「日本人の配偶者等」の身分に基づく在留資格で滞在し、日本での生活や文化に慣れ親しんでいる者も多いです。したがって、このようにすでに日本に居住する外国人を労働力として活用することは重要です。

ただ、上記のように介護サービス産業の外国人労働者は多様な在留資格や国籍出身者で構成されるがゆえに、これらの諸条件の違いが労働条件や生活スタイル等に差を生み出すことも予想され、外国人労働者が急増する今日において、

日本人と外国人という2軸ではなく、外国人同士の違いも含めた広い視点で彼らが抱える課題を検討することは必要です。

これは、介護サービス産業に限らず、多様な産業で就業する外国人にもあてはまります。実際、災害時や緊急時における迅速かつ正確な情報入手が困難、外国人児童の不就学や勉学の遅れ等の課題が生じており、彼らを単なる労働力ではなくひとりの人間として生活課題まで含めたきめ細やかな対応を行っていくことが求められています。

第17回 環大コンペ ～SDGs論文コンテスト～ の結果について

環大コンペとは「公立鳥取環境大学を支援する会」主催のイベントで、大学生の向上と地域社会に貢献する企画を学内から募集し、優秀企画(団体)を表彰し副賞を授与するものです。第17回環大コンペは「地域社会におけるSDGsへの取組」をテーマに論文コンテスト形式で行われました。

今年度は6人の学生から応募があり、論文審査、ポスター発表を経て、右記のとおり入賞企画が決定しました。

2月5日に行われた2次審査では、審査員を前にして緊張しつつも、日ごろのプロジェクト研究やゼミ活動の中で培ったプレゼンテーションの力を発揮し、堂々と発表を行いました。

オンラインマルシェに関する発表を行い、1位に入賞した萩原陸斗さんは「私の研究が農産物ネット販売に興味を持つきっかけになれば嬉しいです。」と喜びの言葉を述べました。

【第1位】
地域社会におけるSDGsへの取組
オンラインマルシェの利用における利点と課題の一考察
環境学部 4年 萩原 陸斗

【第2位】
健康寿命が回復した自治体～自立する期間を長くする為に～
経営学部 4年 高柳 健也

【第3位】
再生可能エネルギーを用いた長期停電時の電力貯蔵システムの構築
津ノ井地区でのシミュレーション
環境学部 4年 和久 大輝

【奨励賞】
公立鳥取環境大学キャンパスの鳥類相 生態系保全の観点から見たキャンパスの役割
環境学部 2年 市原 農太郎
鳥取県東部におけるロードキルの現状調査
鳥取県東部主要道路の動物犠牲記録から動物の事故の発生特性を分析
環境学部 2年 筈川 慶司
地域社会におけるSDGsへの取組
ファッション産業の持続可能性——持続可能な化粧品(Sustainable Cosmetics)
環境学部 1年 金 彬燕



File1 下水汚泥からエネルギーを創出 — 循環型社会の切り札・下水汚泥 —

下水汚泥は有用なバイオマス

下水道と聞くと、「臭い」「汚い」などのイメージを抱く人が多いかと思いますが、下水道は都市で大量に発生する汚れた水を処理するという重要な役割を担っています。下水汚泥はその下水処理の過程で発生するのですが、「安定的に」「大量に」「均質に」発生することから有用なバイオマス資源として、近年注目を集めています。



メタン発酵による下水汚泥からのエネルギー創出!

私の研究室では、メタン発酵という処理により、下水汚泥からメタンを回収し、再生可能エネルギーを創出する研究に取り組んでいます。メタン発酵とは、酸素の存在しない条件下で働く微生物により、下水汚泥などの有機性廃棄物中の有機物を

分解し、減量化する処理方式です。また、その過程で発生するバイオガスに含まれるメタンは発電利用や熱利用が可能です。



▲ 回分式実験の様子

研究は失敗の繰り返し それも大事な積み重ね

下水汚泥の種類によっては、メタン発酵での分解量やバイオガス発生量が小さいものもあります。そこで我々は、生分解性の小さな下水汚泥からのバイオガス発生量を多くするにはどうすればいいか?バイオガスの発生速度を大きくするにはどうすればいいか?を考えながら、日々実験を繰り返しています。例えば、メタン発酵の前処理として、下水汚泥を熱してみたり、マイクロ波や超音波を照射してみたり。バイオガス発生量の変化、バイオガス発生速度の

変化、前処理条件の変更(例:マイクロ波照射であれば、温度、保持時間、照射強度、照射時間など)による影響、前処理前後の性状変化などを調べることで、どのような前処理条件がベストか、どのような原理でバイオガス発生量が増加するかを研究しています。仮説に基づいて実験計画を立てるのですが、ほとんどの場合は望んだ結果は得られません。しかし、仮説が間違っていたという結果もまた、新しい知見なので、失敗を積み重ねることも決して無駄ではありません。私も学生も、めげることなく次の新たな実験に取り組んでいます。

水処理や汚泥処理は、世界中で新しい技術の研究開発が行われています。世界を唸らせる新しい発見や、世界で活躍する卒業生の姿を夢見て、日々研究に取り組んでいます。



環境学部
戸 莉 丈 仁 准教授
専 門 | 水環境工学
下水道工学

File2 AI技術の活用による ESG情報の評価に関する研究

AI(人工知能)技術を利用し、企業の側面に加えて、社会全体のサステナビリティを追求したESG情報を評価するモデル構築を目指し、学外の研究者と共同研究を行っている。ESG情報をもとに機関投資家が運用するESG投資は世界規模で増加傾向にある(GSIA, 2019)。たとえば、金融安定理事会(FAB)傘下のTCFD(気候関連財務情報開示タスクフォース)は、2017年、企業を念頭に、気候変動がもたらす「リスク」及び「機会」の財務的影響を把握し、開示する旨を強調した提言を公表した。2021年1月時点で、世界70カ国の金融機関や企業、NGO/NPOなど約1,600団体、日本も309の団体が賛同している。ESG情報は今や企業価値を評価する上でリスクと同時に、機会として財務的影響を及ぼしうる重要な位置づけにある。しかしながら、ESG情報をもとに行うESG評価に関しては、実際の評価機関の評価プロセスが十分に開示されていないこともあって、肝心の部分がブラックボ

クスとなっていることが多い。したがって、企業のESG情報の重要性が叫ばれながらも、実際には評価機関の評価を上げるための情報開示に歪曲されている危険性がある。

ESG情報はその特性として、財務情報よりはるかに定性的な情報が多く、その情報を評価する内容は多様となる。そのため、これまで人が評価している内容をAI技術の一手法であるディープラーニング(深層学習)を利用し、評価することが重要となり、すでに商業ベースで活用されている。



▲ 企業のESG情報開示とは?

本研究ではAI技術を利用したESG情報との融合に着目し、ESG情報開示が実際のESG評価にどのように影響し、ステークホルダーへの印象を良くするためだけに開示されていないかどうかを判定するモデルを構築している。具体的には、経営者の発言するESG情報の内容を判定するモデルやESG情報に掲載されている写真を自動取得し、それらの使用傾向を明らかにする解析を行っている。



▲ 共同研究 打ち合わせの様子



経営学部
中尾 悠利子 准教授
専 門 | 環境経営
CSR経営

内定 東日本電信電話 (NTT東日本)



萩原 陸斗さん
(神奈川県出身)

Q 就職活動で意識的に取り組んだことは何ですか？

様々な人に会いに行き、様々な考え方を得ようと行動していたところです。また、就職活動には、精神面も重要となってくるので、オンとオフをしっかりとるようにしていました。

Q 大学のサポート、研究、授業、資格、先生や職員のアドバイス、友人の言葉など、就職活動で役立つものは何ですか？

英語の資格や部活動の経験が主な助けになりました。また、友人との交流、ゼミの先生の柔軟なサポート(個別相談など)も大きな助けになりました。

Q 就職活動で直面した困難にはどのようなものがありますか？それを乗り越えられた理由は何ですか？

自分はどのような人間なのか、また自分のやりたいことについて考え、表現することが難しかったです。その中でも、私は将来やりたいことが明確ではなかったので、自分の興味のある業界や自分自身の経験などから得た価値観から自分自身を表現していききました。

公式 YouTube チャンネルで本学の就職活動支援を紹介する動画をご覧ください。



2021年3月卒業予定者 内定状況 (2021年1月31日現在)

【公務員】
環境省、水産庁、陸上自衛隊、京都府(林業)、大阪府、鳥取県(水産)、島根県、徳島県(農業)、愛媛県、鳥取市

【教員】
長崎県、大阪市

【一般企業】
＜建設業＞ウツカンパニー、木下エネルギーソリューションズ、水工技研、第一技研、福田造園土木、メタウォーター＜製造業＞ウェルファームフーズ、オーニット、岩谷瓦斯、大日本除菌菊、徳真電機工業、日本板硝子、フジクリーン工業、山崎製パン、吉泉産業＜電気・ガス・熱供給・水道業＞アイテック＜情報通信業＞テクノプロジェクト、日本海ケーブルネットワーク、東日本電信電話＜運輸業・郵便業＞エムケイ、JR西日本交通サービス＜卸売業・小売業＞イオンペーパー、イオンリテール、Sスマート、九州ケーズデンキ、コタニ、湖東タックス、生活協同組合ユーコープ、外林、鳥取東伯ミート、ナフコ、ナリカ、日興商会、福井県民生協同組合、フジモトHD、マルイ、ミツワフロンテック、リコージャパン、ヤンマーアグリジャパン＜金融業・保険業＞あいおいニッセイ同和損保、全国共済農業協同組合連合会島根県本部＜不動産業・物品賃貸業＞アクティオ、カチタス、タカミヤ、帝人ヘルスケア、西尾レントオール、モリス＜学術研究・専門・技術サービス＞大洋測量設計、TSP、フジみらい＜生活関連サービス業・娯楽業＞大木家＜教育・学習支援業＞学校法人TBC学院国際情報ビジネス専門学校＜医療・福祉＞アースサポート＜複合サービス事業＞福山市農業協同組合、南ひだ森林組合＜サービス業＞アース環境サービス、イオンディライト、NTTファシリティーズ関西、クリタス、三光ホールディングス、鳥取市環境事業公社、日研トータルソーシング

【進学】
北海道大学大学院、東北大学大学院、東京大学大学院、名古屋大学大学院、京都大学大学院、広島大学大学院、大阪市立大学大学院、兵庫県立大学大学院

*企業名は業種別50音順/株式会社等省略

内定 西日本旅客鉄道 (JR西日本)



越智 むつ美さん
(広島県出身)

Q 就職活動で意識的に取り組んだことは何ですか？

先生、先輩、友人やインターネットなど様々なソースから情報を得ることで。しかし、そこから様々なアドバイスや気づきをもらいますが、人それぞれ就職活動に対する思いや手法が異なるのは当たり前なので、他の人の意見を聞きながら、自分の意思をしっかりと持った状態で面接などに挑むようにしていました。結局は、みんなの就活ではなく、自分の就活なのです。また、肩の力を入れすぎず、時には友達とZoomや電話で会話を楽しむなどの息抜きをするようにしていました。

Q 就職活動で直面した困難にはどのようなものがありますか？それを乗り越えられた理由は何ですか？

エントリーシート

最初はインターネットを参考にしていたのですが、情報が多すぎて、書き方が全くわかりませんでした。大学の就職支援センターの方に添削、指導してもらいようになり、自分なりのエントリーシートの書き方や、言葉回しなどを学ぶことができ、本当に磨きのかかった内容を書くことができるようになりました。

面接

最初は準備不足でうまく答えることができませんでした。また、私は人に面接練習をしてもらうことが苦手だったので、実際の面接試験の際に出会った自分の憧れるような面接をする人をイメージして、個人で練習を行っていました。自分なりに

に試行錯誤して練習していくと、だんだんと自分の面接にも自信が持てるようになっていきました。絶対に面接練習は先生に見てもらったほうが良い、こうしたほうが良いというのではないと思います。自分に合った方法で努力することも大切だとこの経験から感じました。また上記2点の壁にぶち当たったとき、自分なりに解決することも大切ですが、一人で抱え込まず、家族や友人に話を聞いてもらっていたことは個人的に良かったと思います。

Q 就職活動を振り返って 公立鳥取環境大学、鳥取で学ぶことの良さは何ですか？

少人数の大学であるため、先生にしっかりと指導をもらえました。また、友達の輪が広がりやすく、色々な人と繋がりができ、毎日が充実していたので採用面接などで話せるエピソードがたくさんありました。留学、資格取得や就職について大学からの手厚いサポートもありました。また、鳥取県は学生の人数も少ないこともあり、学生が何かしたいと思ったときには地域の方が歓迎してくれ、何事にも挑戦しやすい環境がありました。

Q 公立鳥取環境大学で学んだことが 今後の仕事にどう生かされると考えていますか？

TVのCMを見たり、チラシを見たりする際に、この会社のブランド力やターゲット層は…などと経営学の視点から物事を捉えられるようになりました。仕事にも大学で学んだことを上手に生かしたいと思います。

2021年3月卒業予定者 内定状況 (2021年1月31日現在)

【公務員】
海上自衛隊、鳥取市、新見市、東栄町、神石高原町

【一般企業】
＜建設業＞AVANTIA、一畑工業、袖長建設、中央建設、ヘルシーホーム、ヤマタホーム＜製造業＞安泰ニット、出雲村田製作所、大下産業、岡山木村屋、柿原工業、鹿島木材、加茂織維、廣榮堂、寿製菓、大田乳業農業協同組合、鳥取スター電機、山崎製パン＜電気・ガス・熱供給・水道業＞沖繩ガス、名張近鉄ガス＜情報通信業＞アクシス、アドヴァンスト・インフォメーション・デザイン、システムエンタープライズ、システムズナカシマ、新日本海新聞社、ZEXIS、ソフィア、ネットビジョンシステム、BUY THE WAY＜運輸業・郵便業＞エムケイ、岡山交通、西日本旅客鉄道、日ノ丸自動車＜卸売業・小売業＞ウェブシャープ、宇都宮製作、グッディ、ゲンキー、コスミック、コスモス薬品、ザグザグ、佐渡島、山陰パナソニック、島村楽器、杉本商事、スズキ自販静岡、高橋石油、ダンロップタイヤ四国、天満屋ストア、東京靴、トップ産業、日興商会、日本キャタビラー、ネットヨク兵庫、白十字、兵庫日産、ファミリー、富士ゼロックス愛知東、プッシュまわり、ペティオ、前崎、マツヤスーパー、ムトウ、ユニコン＜金融業・保険業＞エヌケーシー、岡三証券、掛川信用金庫、カンタホールディングス、かんぽ生命保険、山陰合同銀行、山陰信販、鳥取銀行、鳥取信用金庫、鳥取県信用農業協同組合連合会、日本生命保険相互会社＜不動産業・物品賃貸業＞大阪トヨタ商事、カチタス、大東建託パートナーズ、ハウスドック＜学術研究・専門・技術サービス＞栗本ホールディングス、TETRAPOT、西谷技術コンサルタント、非破壊検査、フェイスグループ＜宿泊業・飲食サービス業＞エスエルディー、関西フーズ、大起水産、ワールドワン＜生活関連サービス業・娯楽業＞丸三(LPCグループ)、ルルアーク＜教育・学習支援業＞公立鳥取環境大学、ピーシーイングス田中学習会＜医療・福祉＞ニチイ学館、兵庫県国民健康保険団体連合会、ヒューマンライフケア＜複合サービス事業＞晴れの国岡山農業協同組合、長崎県農業協同組合＜サービス業＞アースサポート(廃棄物処理)、オープンループパートナーズ、公益財団法人核物質管理センター、三機サービス、三光ホールディングス、東洋テック

【進学】
公立鳥取環境大学大学院

*企業名は業種別50音順/株式会社等省略

2022年3月卒業予定者の活動状況

就職個人面談

3月から就職活動が本格化する3年生の就職活動への意識を高めるため、夏・冬期の2回面談を行いました。夏はジョブカードから自己分析、就活準備状況を確認、冬は志望企業の確認やエントリーシートの添削などを行いました。



現在はマスク着用、パーテーション設置など感染症対策を講じて面談をおこなっています。

就職支援センタースタッフ

就活のことで何か困ったことや行きづまったことがあれば、就職支援センターに来てください。人生経験豊富な職員が話を聞き、それぞれにあったアドバイスをしてくれること間違いなしです。就職は人生の中でも大きな転機となりますので、学生の皆さんに併走しながら、本人が何を望んでいるのかを確認し、みなさんの就活をサポートします。

就職ガイダンス

2022年卒業予定者を対象に様々な就職ガイダンスを開催しています。2月には、就活直前ガイダンスと学内合同業界セミナーをオンライン形式にて実施しました。ガイダンスでは、スケジュールなどの基本事項の確認をするとともに、コロナ禍の中で就職活動を乗り切るための講演会、就活ナビサイト各社による合同企業説明会の効果的な参加の仕方などの話がありました。セミナーでは、学生の業種、職種に関する理解促進のため、鳥取県内外の優良企業65社を招聘し、人事担当者から各企業についての説明をもらいました。

就職ガイダンスの例

- 自己分析
- 自己PR
- 企業研究
- 模擬適性検査受検会
- 面接対策
- グループディスカッション対策
- マナー対策
- 就活塾(少人数制ガイダンス) など

そのほか就職関連イベント

- リモート企業紹介フェア
- 企業見学バスツアー
- OB・OG就職 など



国際交流プログラム

本学では、海外大学との交流協定に基づき、様々な学生交流プログラムを実施しています。海外の学生との交流や歴史・文化体験は、語学力や国際感覚を磨くだけでなく、視野の広がりや自己成長のきっかけとなっています。



オンライン de 国際交流を行いました!

コロナ禍の影響で現地へ渡航できない状況の中、オンライン会議システムを利用し、語学研修先の国々についてゲストスピーカーと交流しながら学ぶ「オンライン de 国際交流」を行いました。

前期にはドイツ、アメリカ、オーストラリア、後期にはカナダ、ニュージーランド、マレーシアの計6回実施し、延べ98人の学生が参加しました。

各国出身及び在住のゲストがスピーカーになった回では、その国の特色や文化の紹介等、様々な情報提供がありました。毎回盛り沢山の内容で、特に環境や産業面に関する話になると、本学で学んでいる内容と繋げて知識を広げたり、将来の進路選びのヒントを得たりする良い機会となったようです。

また、実際に留学している学生がゲストになった回では、現地での生活や学校の様子をはじめ、留学する前にしておくべきことや留学後の就職活動について、体験談を交えた具体的なアドバイスがありました。

参加した学生はそれぞれに刺激を受けた様子で、留学への意欲向上や新たな視野の広がりに繋がったという声が多く聞かれました。

参加学生の感想を一部紹介します。



私は、これまで国際交流や留学について興味がありながらも、ずっと一歩踏み出すのをためらってきました。しかし今回、実際に留学している先輩の生きた体験談を聞くことができ、さらに興味が出たのと同時に、行きたいという思いが強くなりました。

今はコロナの影響でなかなか留学したりすることは難しいと思いますが、逆にこの機会を利用して文法の基礎を固めなおし、まずは来年の交換留学に挑戦してみたいと思いました。

(環境学部 1年 女子)



大変興味深い話を聞くことができました。環境のことや、動物の進化や生態系、さらには人体の神秘まで学ぶことができました。

画像や動画での説明でオーストラリアの環境に対する強い思いを知ることができました。このように、自国以外の文化を知る機会はありませんかと思うので、今回は大変勉強になりました。

(経営学部 1年 男子)



詳細はこちらをご確認ください



クラブ&サークル



女子バレーボール部

私たち女子バレーボール部は、現在25人で活動しています。主な活動は、週2回の大学での練習と、鳥取県内の大会に出場することです。昨年度は鳥取県の大会で3位に入賞することができました。

女子バレーボール部は以前まで部員が少なく、練習になかなか人数が集まらない状況が続いていましたが、たくさんの新入生が入部し練習がにぎやかになりました。大学からバレーボールを始めた部員も多いため、パス、サーブ、レシーブ、スパイクの基礎練習を中心に、参加人数の多い日は試合形式の実践的な練習もしています。

チームとしては未熟で課題も多いですが、日々の練習を大切に、いずれはより多くの大会で入賞できるように頑張りたいと思います!応援よろしくお願いします!



美術部

こんにちは!私たち美術部は個人制作、共同制作などを環謝祭や学内外のイベントに向けて行っています。水彩、油絵、デジタル、立体など画材を問わず、部員それぞれが好きな美術をみんなで楽しめるサークルを目指して活動しています。現在部員は十数名程度で週1回活動しています。

2020年は残念ながら環謝祭が中止となってしまったため、カラーパレット企画展を部員で立案、企画し、学内のメディアセンターにご協力をお願いして展示イベントを行いました。

絵を描くことやなにかを作ることが好きな方であれば、どなたでも大歓迎です!個人の活動ペースを尊重しながら、今後とも活動していきたいと思っておりますので、応援よろしくお願いいたします。

委員会

【学生EMS委員会】



私たち学生EMS委員会は、環境に興味を持ち、学内環境から地球環境を変える事を目的としている学生の集まりです。『みんなが愛する学校を創ろう』というスローガンを掲げ、学内や鳥取市内の清掃などの社会貢献活動、環境管理説明のような環境教育、ごみ分別をはじめとする小資源・小エネルギー活動に取り組んでいます。

実際の活動としては、学生の環境意識を向上させる学期の初めの環境管理活動説明や全国の環境系大学サークルに呼びかけ、同じ日付、同じ時間に清掃を行いそのごみを持って一斉にジャンプする「JUMP~日本列島を軽くしよう~」を行っています。その他には、白兔海岸や湖山池などの鳥取県の名所を清掃し、地域に貢献しています。

今後は新型コロナウイルスに対応した形で活動を行っていきますので、応援の程よろしくお願いいたします。

【学友会執行部】



私たち学友会執行部は、公立鳥取環境大学学友会(以下学友会とする)の総括を行っています。学友会は、本学学生の自主的活動を支援し、学術文化の向上及び発展に努め、本学の学風の醸成に寄与することを目的とした学生自治会です。

学友会執行部の具体的な活動は、学友会内に設置されている各運営委員会の取りまとめ、学生に納入していただいた学友会費の運用などを行っています。また、学生から募った意見を基に大学と意見交換会を開き、学生生活の充実化を図っています。



プロジェクト名

「とっとりメモリー」(鳥取のお土産イラストブランド)の新商品開発

公立鳥取環境大学磯野ゼミでは、2016年よりゼミ独自の鳥取のお土産イラストブランド「とっとりメモリー」を企画・販売しています。これまでにこのブランドから絵はがきシリーズ、箸置きシリーズを展開し、いずれも好評を博し、これまでに多くの観光客や地元の方にご購入いただきました(写真1、2)。今年度である2020年度は、1-2年生が携わるプロジェクト研究によって、このブランドの新たな商品シリーズの開発を試みました。



▲写真1 とっとりメモリー 絵はがきシリーズ展開 ▲写真2 とっとりメモリー はし置きシリーズ

まず前期プロジェクト研究チームで、コースター、買い物袋、缶バッジ、ステッカーなど様々な商品アイデアを展開し、それらの市場性や実現性を検討した後に、ステッカー案がいいのではないかという結論に至りました。それを受けて後期プロジェクト



▲写真3 ステッカーデザイン初案

研究チームで、具体的なステッカーのデザインを検討しました。試行錯誤を経て得られたステッカーデザインの数案について(写真3)、顧客調査(インタビュー調査)をおこない、より市場性のありそうな案を選択するとともに、調査から得られた顧客の声をもとに、案を修正展開しました。並行して、顧客魅力を実現する価格設定、ブランドの魅力を最大限に表現する店頭ディスプレイの展開も検討しました。そして最後に販売委

託先である「まちバル」のアドバイスをいただきながら、ステッカーデザインを決定し(写真4)、作成に進み、また店頭ディスプレイを立ち上げました(写真5)。

このプロジェクト研究は、教育活動でありながら、本物の商品の企画・販売であるために、学生だからとい

う一切の妥協なしに進めることを心がけました。その結果、担当学生には大きな責任がかり、また、チームワーキングや顧客を理解する際に伴う様々な困難を乗り越えることが求められましたが、学生は、自分が考えたアイデアを実現することの難しさ

と面白さを学んだはず。皆様がこの原稿をお読みになる頃には、「まちバル」(まちなか太平洋線通り・若桜通り交差点角)の店頭にて、この「とっとりメモリー」ステッカーシリーズが、新たな独自の店頭ディスプレイの中で、絵はがきシリーズなどと並んで展開されているはず。ぜひ実際にお手に取り、その魅力を実感していただければ幸いです。



▲写真5 新しい店頭ディスプレイ



▲写真4 ステッカーデザイン最終案

プロジェクトアドバイザー

経営学部 磯野誠 教授

プロジェクトメンバー

プロジェクト研究2 <環境学部> 岩田涼奈、太田琴未、瀧菜々穂、宮脇康大
<経営学部> 伊坂友里、一色貫次、梅田直矢、原田航希
プロジェクト研究4 <環境学部> 寺沢小町、中川謙斗、原田真弥
<経営学部> 川口和輝、高見直樹、中村颯汰、西川真由

セントラルクリスチャンカレッジ オブカンザス(アメリカ)との 覚書を締結しました

本学とセントラルクリスチャンカレッジオブカンザスは、双方の学生の利益と教育プログラムを強化し、文化交流を促進することを目的とし、学部学生および教職員の相互派遣を計画、促進、実施するため、また、両大学の教育・研究などの分野における学術的・文化交流の発展を目指し、覚書を締結しました。

セントラルクリスチャンカレッジオブカンザスはアメリカ中西部・カンザス州のマクファーソンに位置し、1884年に創立された私立大学です。評価機関Higher Learning Commissionの認定を受けており、学生数約250人と小規模カレッジではありますが、経営、アート、教育、サイエンスなど200以上のコースがあります。

今後、学生交流と異文化体験を主とした相互派遣方式のプログラムを実施していく予定です。本学の派遣プログラムでは正規科目の英語、その他科目の履修、学生寮滞在など学生同士の交流を極力多く含んだプログラム内容で、単位取得を目指すものとなります。



▲セントラルクリスチャンカレッジオブカンザス (アメリカ)

2020年12月18日(金) 本学多目的ホールにて 「SDGsカフェ」を開催し 学生15名が参加しました

「SDGsカフェ」とは、SDGsに関する取組の一環として本学の学生とSDGsに関連す

るテーマについて共に考え、SDGsへの一層の理解と教育を行うことを目的に企画したイベントです。今回のテーマは「お米から地球温暖化を考える」です。

本学学生らが中心となり、鳥取市生山で稲作に取り組んでいる「稲葉プロジェクト」の代表である田子川さん(経営学部3年)から稲作の一連の流れ(苗づくり、収穫、次の年に向けた水源の掃除まで)や、今年新たに挑戦した無農薬米の栽培や稲作を通じた地域交流についての説明がありました。

また、「TUES地球環境を考える会」から地球温暖化が進む現在の気候変動の様子や地球温暖化における米の品質への影響について説明がありました。

その後、経営学部山口講師から世界の米の品種や日本独自で品種改良された米についての説明がありました。参加者は説明を聞きながら、稲葉プロジェクトで栽培した3種類の米(ひとめぼれ、新潟産コシヒカリ、鹿児島産ヒノヒカリ)を試食し、味や粘り、甘みなどの違いを比べました。またお米と共に、スイカ漬けや砂丘ラッキョウといった鳥取県特産の漬物も味わいました。



▲SDGsカフェの様子



▲コメの品質に影響する地球温暖化について解説

参加した学生からは「ご飯の食べ比べによって品種の違いが分かり、興味深かった。」「世界の米とSDGsとの関連性について興味があった。」という意見がありました。



「とっとりSDGsパートナー証」を受け取りました

この度、本学は持続可能な地域社会の実現に向け、鳥取県とともにSDGs推進に取り組む「とっとりSDGsパートナー」に登録し、鳥取県発行のパートナー証を受け取りました。



▲とっとりSDGsパートナー証

本学学生が鳥取警察署より 感謝状を贈呈されました

経営学部3年の小坪稔輝さんが「目撃状況を正確に通報する等犯人の検挙に功績があった」として、鳥取警察署長より感謝状を贈呈されました。

以下、小坪さんのコメント「当たり前のことをただけですが、感謝状を贈られて光栄に思います。」



▲感謝状を手にする小坪さん

公開講座



本学では一般の方を対象とした公開講座を実施しています。ぜひご受講ください。

また、講座の様子は動画でも配信中です。(随時更新中)

●講座情報や動画視聴はこちらから

公立鳥取環境大学 公開講座

<https://www.kankyo-u.ac.jp/about/alliance/seminar/>



KANラジ

動画配信中

FM鳥取で放送されたKANラジの収録風景を本学公式YouTubeチャンネルからご覧いただけます。

環境大から、あなたへ!



知識は宝だ! 環境大の気軽に学べるラジオ

KANラジ

本学教員の普段なかなか聞くことのできない話をぜひご視聴ください!



https://www.youtube.com/playlist?list=PLSiGyoo8APzPSLSooyv4s0WxJVAb_8BpN

第1回 「動物たちの日々、動物たちとの日々」
環境学部 小林 朋道 教授

New

第2回 「SDGsを考える」
経営学部 高井 亨 准教授 ・ 環境学部 甲田 紫乃 講師

お問い合わせ

研究交流推進課

TEL

0857-38-6704

E-mail

event@kankyo-u.ac.jp



決算報告

2019年度の決算の概要は次のとおりです。詳しい情報は大学のホームページでご確認ください。
(http://www.kankyo-u.ac.jp/about/announcement/report_since2012/)

損益計算書

収 益		
項目	金額(円)	割合(%)
運営費交付金収益	860,784,269	49.0%
入学金収益	85,258,000	4.9%
授業料収益	534,763,862	30.4%
検定料収益	23,459,800	1.3%
受託研究・事業等収益	11,851,947	0.7%
補助金等収益	39,921,284	2.3%
寄附金収益	6,036,195	0.3%
資産見返負債戻入	81,050,002	4.6%
財務収益	4,077,925	0.2%
雑益	23,395,436	1.3%
臨時利益	4,293,738	0.3%
目的積立金取崩額	82,404,961	4.7%
合計	1,757,297,419	100%

収 益

大学の収益は主に、設置者(鳥取県及び鳥取市)からの運営費交付金(49%)と学生からの授業料、入学金の納付金(35.3%)です。

費 用

項目	金額(円)	割合(%)
教育経費	326,198,545	18.6%
研究・教育研究支援経費	212,601,749	12.1%
受託研究・事業費	10,418,456	0.6%
人件費	1,053,614,792	60.0%
一般管理費	126,949,799	7.2%
雑損	15,510	0.0%
臨時損失	4,293,758	0.2%
当期総利益	23,204,810	1.3%
合計	1,757,297,419	100%

費 用

大学の費用は主に、教育経費(18.6%)、研究・教育研究支援経費(12.1%)、役員・教職員の人件費(60%)、一般管理費(7.2%)です。

貸借対照表

資 産		
項目	金額(円)	割合(%)
土地	3,514,650,000	34.2%
建物、構築物、 工具器具備品他	5,298,354,962	51.6%
図書	370,055,190	3.6%
その他有形固定資産	4,506,000	0.1%
無形固定資産	12,573,639	0.1%
有価証券等	199,568,439	1.9%
現預金	815,700,450	8.0%
未収入金等	48,813,574	0.5%
合計	10,264,222,254	100%

資 産

大学の保有する資産はその大部分が土地・建物等(85.8%)です。また、その他の主な資産として有価証券・現預金等が(9.9%)、図書(3.6%)となります。

負債・純資産

項目	金額(円)	割合(%)
固定負債	849,756,967	8.3%
流動負債	141,710,439	1.4%
資本金	8,336,830,000	81.2%
資本剰余金	159,859,077	1.6%
利益剰余金	776,065,771	7.5%
合計	10,264,222,254	100%

負債・純資産

資本金は設置者から出資(鳥取県50%、鳥取市50%)。また、固定負債の主なものが資産見返負債(80%)、長期寄附金債務(20%)です。

※ 資産見返負債

目的積立金以外の財源で固定資産を購入する場合、計上する必要がある地方独立行政法人会計特有の負債。この負債は各固定資産の耐用年数に応じて毎年減額。

※ 長期寄附金債務

長期を見返え、学生支援をするための財源として本学が保有する負債。

大学からのお知らせ

2020年度 学部・大学院学位授与式

2020年度公立鳥取環境大学 学部・大学院学位授与式を下記の通り執り行います。

2021年3月現在、新型コロナウイルス感染症の影響

で席の制限をしておりますが、ご家族の皆様の入場は制限しておりません。満席になり次第、入場をお断りいたしますが、ご了承ください。

なお、今後の感染症拡大状況により、参加者の制限や内容を変更する場合がございますので、必ず最新の情報をホームページにてご確認の上、ご出席ください。

【日時】2021年3月19日(金)

- 受付開始/ 9:30
- 開 式/10:00
- 終了予定/12:30

【会場】とりぎん文化会館 梨花ホール
(鳥取県鳥取市尚徳町101-5)

〈お問い合わせ先〉

公立鳥取環境大学総務課 TEL / (0857)38-6700